

栃尾商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 地区内小規模事業者
イ 対象企業数 45 事業所
ウ 回答企業数 45 事業所 (回答率 100 %)

(2) 調査対象期間

平成27年7月～平成27年12月
(調査時点 平成27年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	7	15.5	7	15.5
建設業	12	26.7	12	26.7
卸・小売業	13	28.9	13	28.9
サービス業	13	28.9	13	28.9
合計	45	100	45	100

2. 地域内産業全体の景況概要

全体的に「不変」の回答も多い事から、ある程度の持続的な事業運営ができて
いることが伺える。しかし、売上、採算については減少の回答がみられ、経営上の
問題点の上位は、全て業種で「需要の停滞」と回答があり、消費の落ち込みから
回復基調が見られない状況である。

【後継者の状況】

後継者「無」が約64%と高く、近い将来には廃業の増加と後継者対策が課題

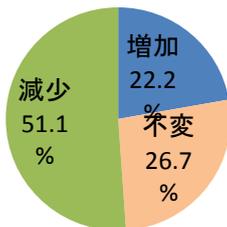
後継者 有	16事業所	35.6%
後継者 無	29事業所	64.4%

【売上高】

いづれも減少が、増加、不変を上回る結果となった。前年同期比、前期比では
増加が22.2%あり、一部に上向きの事業所も見られたが、今後の見通しでは減少が
6割近い回答となり、先行きの厳しさが伺える。

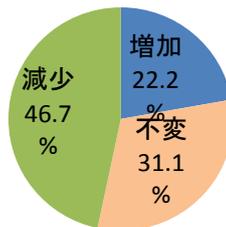
前年同期比

増加	不変	減少
10	12	23



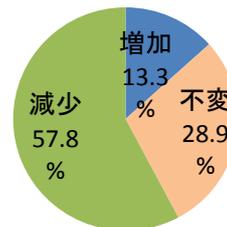
前期比

増加	不変	減少
10	14	21



今後の見通し

増加	不変	減少
6	13	26

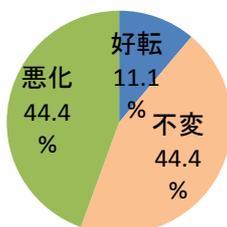


【採算】

好転との回答は少なく、悪化の傾向にある。 今後の見通しも、不変、悪化
との回答が約96%と多く、先行きの厳しい状況が伺える

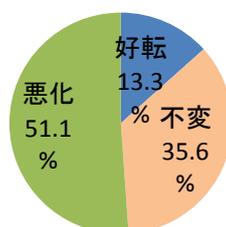
前年同期比

好転	不変	悪化
5	20	20



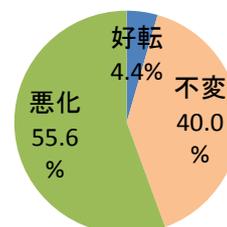
前期比

好転	不変	悪化
6	16	23



今後の見通し

好転	不変	悪化
2	18	25



【仕入単価】

低下と不変の回答を合わせると、60%を超えて、やや安定しているようではあるが、製造業では上昇の回答が多く、採算に大きな影響を及ぼしている。

前年同期比

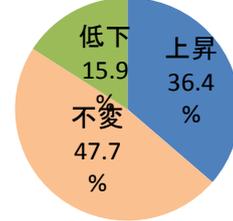
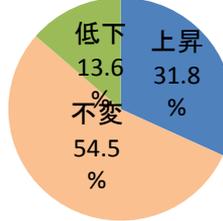
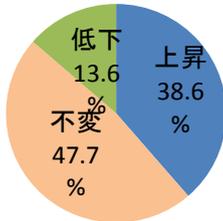
上昇	不変	低下
17	21	6

前期比

上昇	不変	低下
14	24	6

今後の見通し

上昇	不変	低下
16	21	7



【販売（客）単価】

「上昇」との回答は少なく、低下、不変が大多数を占めていることから、低下の傾向にあり、売上減少に繋がっているものと思われる。

前年同期比

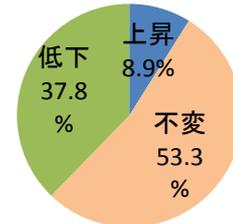
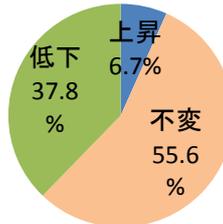
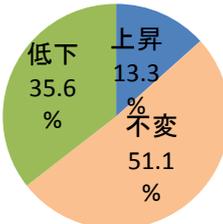
上昇	不変	低下
6	23	16

前期比

上昇	不変	低下
3	25	17

今後の見通し

上昇	不変	低下
4	24	17



【資金繰り】

「不変」が70%を越えており、資金繰りの悪化は深刻な状況とまでには至っていないようで、現状維持の状況と思われる。

前年同期比

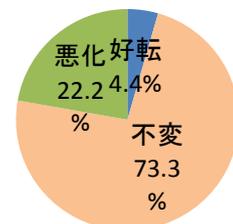
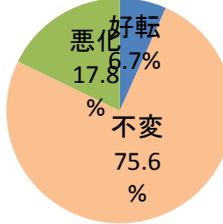
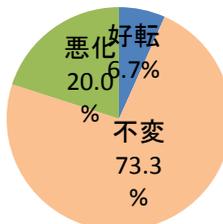
好転	不変	悪化
3	33	9

前期比

好転	不変	悪化
3	34	8

今後の見通し

好転	不変	悪化
2	33	10

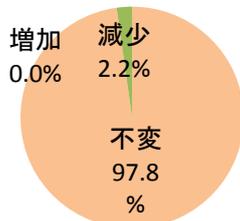


【雇用動向】

全ての業種で「不変」の回答が大多数を占め、現状維持の状況。

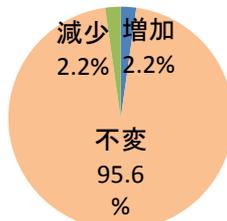
前年同期比

増加	不変	減少
0	44	1



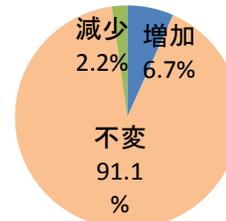
前期比

増加	不変	減少
1	43	1



今後の見通し

増加	不変	減少
3	41	1

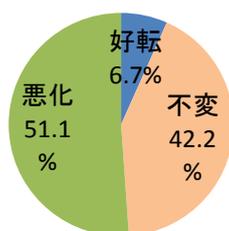


【景況判断】

好転したとの回答は前年同期比、前期比ともに6.7%と低い。悪化は前年同期比51.1%から前期比42.2%に減少したものの、今後の見通しでは62.2%に上昇しており回復感に乏しい結果となった。

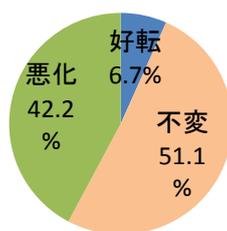
前年同期比

好転	不変	悪化
3	19	23



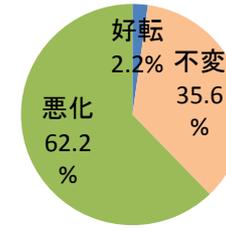
前期比

好転	不変	悪化
3	23	19



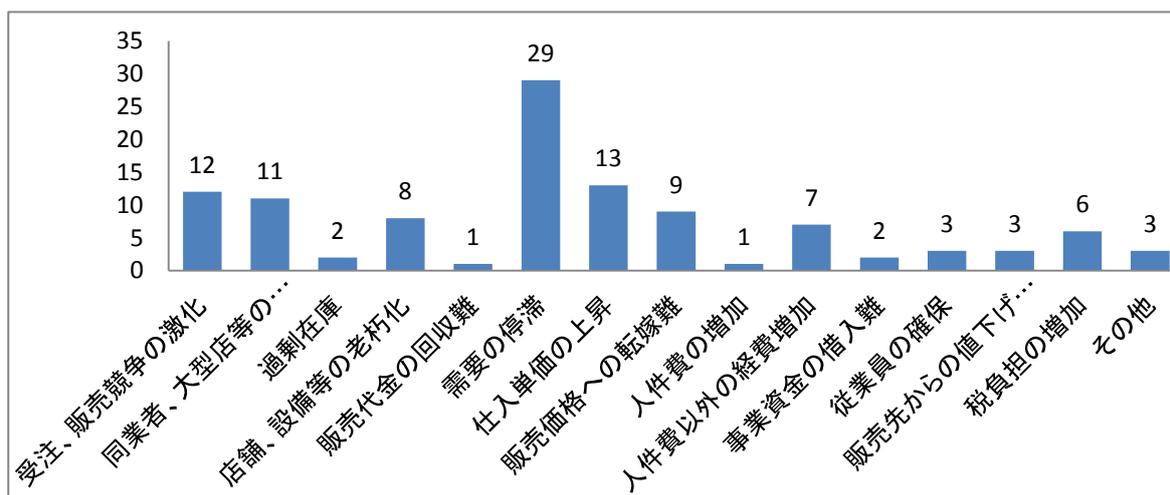
今後の見通し

好転	不変	悪化
1	16	28



【経営上の問題点】

一番多い回答が「需要の停滞」、続いて仕入単価の上昇、受注販売競争の激化となり、これらが収益圧迫の大きな要因であることが伺える。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

仕入単価の上昇により、採算と景況判断を悪化と予測している回答が多くあり回復感に乏しい状況が伺える。
今後、強化したい点として、販路開拓の強化との回答もあり、課題と思われる。

【売上高】

前年同期比

増加	不変	減少
1	2	4

前期比

増加	不変	減少
2	2	3

今後の見通し

増加	不変	減少
0	2	5

【採算】

前年同期比

好転	不変	悪化
1	3	3

前期比

好転	不変	悪化
0	3	4

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	1	6

【仕入単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
5	1	1

前期比

上昇	不変	低下
5	1	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
6	0	1

【販売（客）単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
1	4	2

前期比

上昇	不変	低下
1	4	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
1	4	2

【資金繰り】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	5	2

前期比

好転	不変	悪化
0	5	2

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	5	2

【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
0	7	0

前期比

増加	不変	減少
0	6	1

今後の見通し

増加	不変	減少
0	6	1

【景況判断】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	2	5

前期比

好転	不変	悪化
0	4	3

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	1	6

(2) 建設業

一般住宅の新築は消費税の増税を契機に減少し、売上減となっている。
大手ハウスメーカー等からの下請業務の割合が多く、工賃が低いため、利益が薄い。
一部ではあるが、今後の見通しに売上増加との回答もあったが、景気回復の実感
は低い状況にある。

【売上高】

前年同期比

増加	不変	減少
2	4	6

前期比

増加	不変	減少
3	5	4

今後の見通し

増加	不変	減少
3	4	5

【採算】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	7	5

前期比

好転	不変	悪化
2	4	6

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	5	7

【仕入単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
5	6	1

前期比

上昇	不変	低下
4	7	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
3	8	1

【販売（客）単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
0	9	3

前期比

上昇	不変	低下
0	9	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
0	10	2

【資金繰り】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	9	3

前期比

好転	不変	悪化
0	10	2

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	10	2

【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
0	11	1

前期比

増加	不変	減少
0	12	0

今後の見通し

増加	不変	減少
1	11	0

【景況判断】

前年同期比

好転	不変	悪化
0	5	7

前期比

好転	不変	悪化
0	7	5

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	4	8

(3) 卸・小売業

栃尾地域外(旧長岡市)への購買流失で苦戦を強いられている。
経営上の問題点としての回答1位は「需要の停滞」、2位が「同業者、大型店等の進出」、3位「販売競争の激化」となっている。
今後の経営で強化したい点として、販路開拓(HP、ネット販売)や、商品の見直し、物品以外のサービス強化などの回答があった。

【売上高】

前年同期比

増加	不変	減少
3	4	6

前期比

増加	不変	減少
3	5	5

今後の見通し

増加	不変	減少
1	5	7

【採算】

前年同期比

好転	不変	悪化
2	5	6

前期比

好転	不変	悪化
2	5	6

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	7	5

【仕入単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
5	6	2

前期比

上昇	不変	低下
3	8	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
5	5	3

【販売(客)単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
2	4	7

前期比

上昇	不変	低下
0	6	7

今後の見通し

上昇	不変	低下
1	3	9

【資金繰り】

前年同期比

好転	不変	悪化
1	11	1

前期比

好転	不変	悪化
1	11	1

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	10	2

【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
0	13	0

前期比

増加	不変	減少
1	12	0

今後の見通し

増加	不変	減少
1	12	0

【景況判断】

前年同期比

好転	不変	悪化
2	5	6

前期比

好転	不変	悪化
1	6	6

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	5	8

(4) サービス業

他業種に比べ売上、採算ともに「減少」「悪化」との回答が多くなっている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が最も多い。経営において強化したい回答には、消費者の高齢化と人口減少で更なる売上減が懸念される中で、顧客サービスに新たな展開を模索したいとの回答もあった。

【売上高】

前年同期比

増加	不変	減少
4	2	7

前期比

増加	不変	減少
2	2	9

今後の見通し

増加	不変	減少
2	2	9

【採算】

前年同期比

好転	不変	悪化
2	5	6

前期比

好転	不変	悪化
2	4	7

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	5	7

【仕入単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
2	8	2

前期比

上昇	不変	低下
2	8	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
2	8	2

【販売（客）単価】

前年同期比

上昇	不変	低下
3	6	4

前期比

上昇	不変	低下
2	6	5

今後の見通し

上昇	不変	低下
2	7	4

【資金繰り】

前年同期比

好転	不変	悪化
2	8	3

前期比

好転	不変	悪化
2	8	3

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	8	4

【雇用動向】

前年同期比

増加	不変	減少
0	13	0

前期比

増加	不変	減少
0	13	0

今後の見通し

増加	不変	減少
1	12	0

【景況判断】

前年同期比

好転	不変	悪化
1	7	5

前期比

好転	不変	悪化
2	6	5

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	6	6

